



第7回

日本工業大学 工業技術博物館

工業技術博物館は、1987年（昭和62年）に宮代町にある日本工業大学内に開設されました。

日本の産業発展に寄与した明治初期からの歴史的な工作機械など270台以上を機種別、製造年別に展示、公開しています。しかも約7割の工作機械は動く状態で保存されており、かつての町工場も再現されています。また、約130年前にイギリスで製造された蒸気機関車（動態保存）や箱根登山鉄道で活躍した車輛なども公開されています。

今回は歴史的価値も高い工業技術博物館に保存されている貴重な展示品の一部を紹介いたします。

復元された町工場「植原鉄工所」

大正から昭和にかけての機械加工工場を忠実に再現。「植原鉄工所」は明治40年に東京三田に創業した「町工場」を博物館内で復元し、いつでも稼働できる状態になっています。



町工場「植原鉄工所」



2012年のNHKの朝ドラ「梅ちゃん先生」のロケ地にもなりました。（旋盤などの工作機械を実際に動かすことにより、主人公を演じる堀北真希さんが学徒動員で働く様子を再現。）

圧巻の工作機械展示

270点を超える展示の中心は工作機械で、そのほとんどが動態保存されています。旋盤、ボール盤、中ぐり盤、フライス盤、研削盤、ターニングセンタ、マシニングセンタなどの工作機械。プレス、ダイカストマシンなどの産業機械。これらが種類ごとに年代を追って展示されています。

館内は工場特有のオイルの香りが漂っています。



歴史的価値のある工作機械の数々

発電用高効率ガスタービン

日本の国家プロジェクト「ムーンライト計画」で、当時の最先端技術を駆使して研究開発し、世界最高品位を実証しました。その成果は現在の発電用ガスタービンに活用されています。



発電用高効率ガスタービン

1891年イギリス製蒸気機関車 2100形

1891年にイギリスのダブス社で製造され、日本に輸入されました。明治から昭和30年代にかけて、日本鉄道、西濃鉄道、大井川鐵道で活躍しました。現在も永久動態保存のため、大学内にある軌道を走行しています。(走行日は不定期)

蒸気の力で重厚な機関車が動く姿に感動すること間違いなし!!



英国製蒸気機関車 2100形

箱根登山電車 モハ1形-103号

1919年(大正8年)に日本車輛製造株式会社で製造された木製車体(チキ1形)を1950年(昭和25年)に汽車製造株式会社東京製作所で製造された半鋼製車体(モハ1形)に改造された電車です。2019(令和元年)に運転を取りやめ、同年、日本工業大学に譲渡されました。現在は、工業技術博物館前庭に展示しております。



箱根登山電車

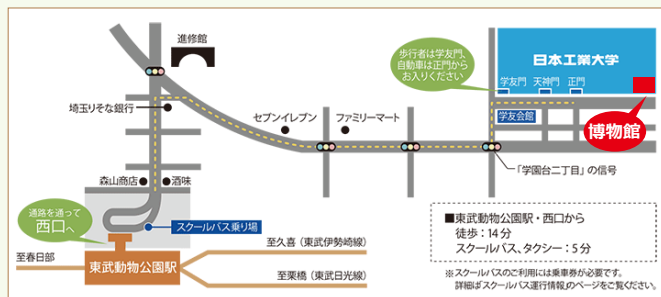
日本工業大学工業技術博物館

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
 電話番号：0480-34-4111 (大学代表)
 0480-33-7545 (博物館直通)

開館時間：9:30～16:30 (ただし入館は16:00まで)
 休館日：日曜・祝日、8月中旬～下旬、年末年始、
 大学の入試日

※展示の都合により臨時休館することがあります。

入場料：無料



※開館状況や蒸気機関車の運転日はホームページに随時反映していますので、ご確認のうえ来館ください。

<http://www.nit.ac.jp/campus/center/museum/>